

第 47 回海洋開発シンポジウム(2022)開会挨拶

第 47 回海洋開発シンポジウム(2022)の開催に当たりましてご挨拶申し上げます。

本年は、熊本大学の辻本剛三教授のご協力を賜りまして、熊本市にて開催する予定でした。しかし、依然として先行きが不透明な新型コロナウイルスの状況下におきまして、多くの方に会場にご参集いただく形式での開催の是非について委員会で検討した結果、苦渋の決断でしたが昨年度に引き続きましてオンラインでの開催とさせていただきます。

さて、本年の海洋開発シンポジウムでは、一般課題として 144 編のご講演がございます。従来からの研究課題はもちろんのこと、脱炭素・カーボンニュートラル、洋上風力、マイクロプラスチックといった時宜を得た課題、さらには海底火山噴火によって発生した軽石の漂流といったこれまでに想定されてこなかった問題などが含まれております。

特別セッションは、昨年に引き続き、「働き方改革を踏まえた港湾・漁港・海岸事業等の進め方」というテーマで、7 編のご講演がございます。「働き方」を中心に「作業可否の事前予測」や「自然への対応力」も含めて、港湾・漁港・海岸事業等を実施する上での課題とその解決策に関して、幅広い議論を行っていただけると期待しております。さらに、「ブルーカーボン生態系の増殖技術」という新しいテーマで、6 編のご講演をいただきます。脱炭素社会への取り組みが加速するなか、沿岸域における温暖化緩和策として CO₂ の吸収源対策であるブルーカーボンが注目されております。今年度はブルーカーボン生態系の中でも「藻場」に着目し、工学的な視点からの増殖技術に関して、闊達な議論がなされることを期待しております。

本シンポジウムでの多様性に富んだ多くのご講演及びディスカッションは、きっとみなさまや社会に役立つものと信じております。

海洋開発委員会では、皆様のご支援を受けながら、海洋に関わる開発・利用・保全技術のイノベーションに取り組んでいきたいと思っております。引き続き、皆様からのご意見、ご指導をお願い申し上げます。

最後に、来年度は、コロナ禍のために 3 年前に中止した網走市(北海道)での開催を予定しております。

来年度こそは、現地でみなさまと闊達な議論ができることを祈念いたします。

2022 年 6 月
土木学会海洋開発委員会 委員長
富田 孝史(名古屋大学)